

平成 29 年度 第 1 回 大阪府立春日丘高等学校（定時制） 学校協議会

平成 29 年 6 月 22 日（木） 19：00～21：00

場所：ウイステリアホール

議 事 録

協議会委員 服部 利幸 委員（立命館大学教授）、中鹿 彰 委員（追手門学院大学教授）
久保 博委員（茨木市立西中学校長）、片岡 誠 委員（本校後援会長）
新居 真理 委員（保護者・本校振興会副会長）、長田 佳久 委員（本校卒業生）
事務局 平岡 香子（准校長）、松島 慎一（教頭）、小西 順治（首席）
浅原 幸三（主査）、服部 洋佑、中村 充希、小谷 貴昌（以上、教員）

1. 准校長挨拶
2. 自己紹介
3. 会長選出（准校長より）

服部 利幸 委員（立命館大学教授）に会長を依頼した。

4. 本校の現状について
 - ① 本年度学校経営計画（准校長）
 - ② 学校の現状について（教頭）
 - ③ 次年度教科書選定について（准校長）
 - ④ 学校行事について（首席）
5. その他

次回 11 月開催予定

<提言・質問等>

- ・授業力向上に関する職員研修について、効果測定をどのように行うのか。授業アンケートの結果だけではなく、研修そのものについてのアンケートが必要であろう。
- ・学校経営計画で示されている目標数値については、生徒在籍数や生徒状況といった、いわば分母が変わると分子も変わるのではないかと。単純に前年との比較というのは困難だろう。
- ・生徒数が減少しており、入学してくる生徒像も変わってきていると考える。だとすれば、生徒の状況に応じて、学校経営計画も変わるのではないかと。
- ・評価するための指標（％）は必要かと思われるが、生徒の入学や卒業によって生徒が変わるのであれば、指標の（％）の信憑性はどうか。
- ・具体的にどのような教育活動が行われたのかが、学校評価に結び付くのではないかと。
- ・教員の人数が少ないのに、良くやってもらっている。限られた人数の中で、専門外のことも教えてもらっていてありがたいと思う。
- ・教員は教育が中心。社会保障的な部分などは専門家や外部機関と連携をして、先生の負担を軽くして、学校教育に支障が無いようにしていただきたい。
- ・この学校を選んで、入学する生徒の割合が増加していると聞く。そういった生徒は貴重な存在であり、先生も仕事にやる気が出てくるのではないだろうか。